中部支部　創立65周年

北米、新興国で積極投資
部品各社、成長の軸へ

リーマン・ショック以降、さまざまな苦難を経て力を蓄えてきた中部支部会員企業。次の成長に向け、いよいよ攻勢に転じる。成長の軸に据えるのが海外だ。海外需要は伸び、完成車メーカーによる現地調達ニーズも高まる。部品メーカー各社は海外での生産体制整備に向け投資を積極化し始めている。

現地調達ニーズに対応

堅調に回復している北米市場。日系自動車メーカーは新車投入のほか相次いでメキシコで新工場を建設するなど攻勢を強める。部品メーカーも、こうした動きに合わせ生産体制を強化する。

エンジン軸受メーカーの大同メタル工業は北米に再進出を果たす。メキシコ・ハリスコ州に新設した工場で7月に量産を始める。以前は米国に工場があったがリーマン・ショック後の経営悪化により2010年に精算。それ以降、北米向けは日本などから輸出していた。再び現地に工場を構え現地調達ニーズと需要増に応じる。

豊田合成はカナダ・オンタリオ州の内外装樹脂部品工場が手狭になったため、同州内に新工場を建設。同社のカナダの生産拠点は5カ所目となる。愛三工業はトヨタ自動車や日産自動車向け供給増に対応し、13年度に米ケンタッキー州のエンジン機能部品工場を増強する。スロットルボディーや燃料ポンプモジュール、キャニスターの生産能力を高める。

槌屋（名古屋市中区）は米アラバマ州に樹脂部品工場を建設、8月に稼働する計画。同社にとって米国で3カ所目の樹脂部品工場。同州周辺の部品メーカーからの受注が拡大しており、既存のインディアナ州とテキサス州にある2工場が手狭となっている。需要地の近くに工場を構え供給能力の確保と輸送コストの削減を図る。

大同メタル工業はメキシコに新工場を設け北米に再進出する

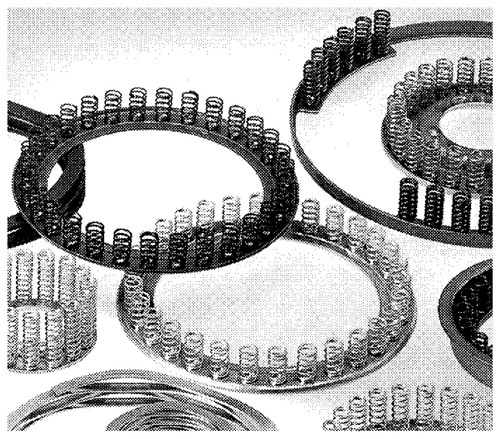
中国市場を再認識

12年秋以降、日本車不買運動が起きた中国。現在は回復してきており、重要市場としての位置づけに変わりはない。日系自動車メーカーは大市場の攻略に向け、反撃に転じる。一方、中国で先行する欧米勢も一層、攻勢を強める構え。日系部品メーカーも現地生産を強化し需要の取り込みを図る。

アイシン・エィ・ダブリュ（アイシンAW）は14年末をめどに天津市にある自動変速機（AT）工場でオイルポンプなどの構成部品の生産を増強する。増強分は隣接地に建設する新AT工場に供給する。以前から部品を生産していて、人材育成が進んでいる既存工場が新工場の一部部品を担当することで効率的なAT生産を目指す。同社はトヨタのほか中国現地資本の自動車メーカーや独フォルクスワーゲン（VW）にAT納入が増えている。天津市の新工場のほか蘇州市でもAT工場を建設している。

そのアイシンAWに部品を供給する東郷製作所（愛知県東郷町）は中国への工場進出を決めた。14年春をめどに常熟市にAT用バネを生産する工場を建設する。新工場では16年をめどにトヨタグループ向けにホースクランプの生産も始める計画。

ジェイテクトは無錫市の軸受製造会社を同市内に移転し、生産設備の更新やライン新設を実施。14年に現地生産量を12年比で約3倍にする方針だ。中央発條は湖北省に現地メーカーと折半出資により懸架バネの合弁工場を設置する。華中から華南にかけて取引先を開拓する。


東郷製作所が中国で生産するAT用バネ

サテライト拠点を展開

中国以外の新興国でも投資が活発だ。豊田自動織機はインドネシアのカーエアコン用コンプレッサー工場を移転拡張する。生産能力は現在の2倍に当たる年間300万台に増える。東南アジア地域内はもとより、地域外への輸出増も見込んでいる。大豊工業は新中期経営計画で、海外事業の拡大を柱に16年3月期に連結売上高1100億円（13年3月期比27・8％増）、営業利益率6・5％（13年3月期は3・7％）を目指す。

成長する新興国だが、その分、競争は激化する上、人件費も上昇している。そのため、いかにコスト競争力を高めつつ需要増に応じるかも重要だ。トヨタ紡織は14年にラオスに新工場を建設し、シートカバーの生産を始める。タイのシート工場からカバーの縫製工程を移管する。タイは人手不足状態が続いており、ラオスの方が人件費も安いため移管し競争力を強化する。

タイガーサッシュ製作所（愛知県刈谷市）は2月、インドネシア・ブカシ県に自動車のドア関連部品の工場を稼働した。同社初の海外拠点で月産能力は約30万個。東南アジア諸国連合（ASEAN）だけでなく、欧州などへの輸出拠点としての活用も目指す。2014年12月期に売上高5000万円を見込む。

シロキ工業は供給先の近くで最終製造工程のみを行うサテライト拠点の展開に乗り出す。第一弾として中国・河南省にドアサッシのサテライト拠点を設置し12月に稼働する。現在は広州市の工場から完成品で輸送している。半製品を送りサテライトで仕上げるようにし物流費を低減する。

（次ページへ続く）

Creating the next value
— モノづくりで、まだない価値を。—
JTEKT
Koyo　TOYODA
JTEKT | 株式会社ジェイテクト　自動車部品　軸受（ベアリング）　工作機械・メカトロニクス　www.jtekt.co.jp

東海ゴムは、もう、東海だけの会社ではありません。
1988年に初の海外生産拠点を設立して以来、
世界24カ国、102の拠点を展開する
グローバルな総合高性能部品会社。
自動車・IT・通信・電子機器から住宅まで
幅広い事業分野をカバーし、世界的な変化に対応する
グローバルな生産ネットワークづくりを進めています。
東海から世界へ。ゴムから新分野へ。
時代のニーズを先取りし、世界中で新たなチャレンジを続ける
東海ゴムに、ご期待ください。
made in the WORLD.
TRI TOKAI 東海ゴム工業株式会社
http://www.tokai.co.jp/
●本　社／〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地　☎(0568)77-2121（代表）
●支社・支店・営業所／東京・大阪・広島・仙台・福岡　●製作所／小牧・松阪・富士裾野

スパークプラグ　グロープラグ　ジルコニア酸素センサ
●全領域空燃比センサ
●広範囲排気温度センサ
●EGR温度センサ
●エアクォリティセンサ
●ノックセンサ
●AQGS/QGS/QHS（ディーゼル車用始動補助システム）
未来に大切な技術って、なあに？
NGK スパークプラグ　NTK ニューセラミック
日本特殊陶業　http://www.ngkntk.co.jp
〒467-8525 名古屋市瑞穂区高辻町14-18　TEL(052)872-5933

世界の道で、乗る人の「うれしさ」を学び続ける。
そのクルマは、ヨーロッパの石畳を走るかもしれない。
そのクルマは、灼熱の砂漠を走るかもしれない。
そのクルマは、極寒の凍結路を走るかもしれない。
アイシン精機、特殊試験路。ここには世界のあらゆる道がある。
どんな環境でも満足してもらえる一台のために、このテストコースで
コンピュータで究めた製品を、さらに、乗る人の気持ちになって鍛えあげていく。
すべては、クルマの部品やシステムの開発段階から、
乗る人の“うれしさ”を学び、求められているものをカタチにするために。
AISIN
One Team, Best Future
アイシン精機株式会社
〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地　www.aisin.co.jp

今、この瞬間、この惑星（ホシ）で、
何億というクルマが、
何億という命を乗せて走っている。
クルマは、決して、人を傷つけてはならない。
決して、人を悲しませてはならない。
私たちデンソーが守りたいのは、世界の命。
いつも、そして、もしもの時も、
そこには、デンソーの安全テクノロジー。
世界の命を、
技術で守りたい。
クルマがずっと愛されるために
DENSO
www.denso.co.jp

日本自動車部品工業会 中部支部
創立65周年